

昇圧回路 V-UP16 バッテリーCDI (DC\_CDI) 専用品 取り扱い、取り付け説明書 Ver1.03  
バッテリーCDI (DC\_CDI) 点火装置用

注意事項などもありますので 取り付け前に必ずお読みください

CDI 点火装置の場合、TCI 点火装置のようにイグニッションコイルへ V-UP16 を決して接続しないでください V-UP16 が必ず壊れます

従来品（試作バージョンを含む）もバッテリーCDI へ対応できますが 結線方法はバッテリーCDI 用の結線方法で結線をしてください

### DC\_CDI への V-UP16 の効果

TCI の場合 電源電圧の低い比較的低回転での効果が特に期待できましたが DC\_CDI の場合は 比較的高回転での効果が期待できます

理由は CDI の場合 点火コンデンサーに充電してそれを一気に放電して火花を飛ばします このときの 点火コンデンサーに充電するのに時間が必要になります 特に高回転時は点火間隔が短く充電する時間が足らなくなります ではどうするかと言うと、点火コンデンサー充電用高圧発生回路の電圧を上げて早く充電を完了できるようにします

これが DC\_CDI 点火装置への昇圧回路 V-UP16 を使用して火花を強くする原理です

実際のテスト車両では 低回転もトルクが強くなりますが 高回転の伸びが明らかに違います

### 結線方法

DC\_CDI の場合は CDI ユニットの電源に接続しますので TCI 点火装置のようにイグニッションコイルへは接続しません そのため接続は TCI 点火装置のように接続する配線が簡単にはわかりません DC\_CDI ユニットには 電源、アース、イグニッションコイル、ニュートラルスイッチ、サイドスタンドスイッチ、キルスイッチなど車種によって違いがありますが 多くの配線が接続されています その中で DC\_CDI の電源線に接続します

この商品は DC\_CDI ユニットの電源線がわかる方を対象にした商品です

お問い合わせしていただく場合 こちらでは配線色まで把握してはいませんので 現状では車両配線図が必要になります これは購入希望者様で用意してください 車両配線図があれば こちらで接続の場所を指示させていただきます

本体はプラスチック製で簡易防水構造となっております 常時、水がかからなければ大丈夫ですが一応電子部品ですので 出来るだけ水のかからないところへの取り付けを希望します

ケースの蓋は接着してありますので 剥がさないでください

無理に剥がすと内部回路が破損します

この昇圧回路 V-UP16 は 変換効率、小型化を優先して作りましたので **バッテリーへの逆接続（プラス、マイナスの間違い）や出力の短絡への保護回路は入っておりません**。そのため逆接続や出力が短絡をすると **内部回路が破損しますので 十分注意してください**。また 壊れ方にもよりますが ほとんどの場合、万が一故障しても 元の電圧（正確には元の電圧、約-0.3V）を出力するようにしてあります。昇圧回路 V-UP16 は発熱しますので ケースは放熱もかねております。取り付けは 出来るだけ風通しの良い場所へ取り付けてください。また、プラグ、イグニッションコイル、CDI ユニット等の寿命を短くする方向に作用するのは事実です。しかし これらのパーツは十分余裕を見て設計されているはずですので 影響は軽微だと思います。

バッテリー未搭載車または 元々はバッテリーが搭載されていて それを外してコンデンサーなどに置き換えてある車両にも使用できません。これはバッテリー（大きなコンデンサーだと思ってください）が小さなコンデンサーに置き換えられたため 電圧変動が大きい可能性が有ります。また コンデンサーでは大電流を取り出すことが出来ません。

**イグニッションコイルが2個のDC\_CDI仕様への車両へは対応できませんので 従来品(試作バージョンを含む)での対応となります**

この昇圧回路 V-UP16 バイク専用商品は 発売開始して 間もない商品です。すべてのバイクに対して対応状況を確認したわけではありません。これから出来るだけ多くのバイクで対応状況を確認していきます。不明な点は下記まで お問い合わせください。

〒491-0838

愛知県一宮市猿海道 3-12-31

(有) ツイントップ

TEL0586-24-3161

FAX0586-24-3365

MAIL [info@twintop.jp](mailto:info@twintop.jp)

HP <http://www.twintop.jp>